

図の上部には、次の口上がある。

○此度御目見得仕り升る

鶴助義は元祖中村歌右衛門

弟子分水木東蔵一とたび二代目

歌右衛門名を嗣後に元祖

歌右衛門実子福之助を三代目

に守り立その

身は中村

東蔵と

改め

江戸表

にて

中東

く

御ひゐき

に

預り

升たる

東蔵悴

▲二代目鶴助の二男を

親共の名前を嗣せ升

たる三代目中村鶴助に

ムリ升る○是迄大坂表に

相勤居り升たる所此ごとく

開化の御時節を幸ひ御当地へ

登り升て芸道の修行且は何れも様へ

御目見得が致シたいとの願ひに付御ひ

ゐきの御手引を以升て中村座へ罷登り当權狂言より御目

得仕り升様にムリ升る去ながら若年未熟者にムリ升れど○梅の

浪花に名もかんばしき加賀やの梅玉成駒にもつながら縁の歌舞妓の

正統○併シ芸道は修行中なか く大役などを勤させ升ていづれも様方の

御意に叶ひ升やうはムリ升ぬが、ハわるい所は幾重にもおしかりをうけながら
すゑ、ハ役者の数にも加はり升て、ハ大立ものに成駒の芝翫同やうに

ひとへに御ひのみき御取立、ハかゞや、ハとおほめの

おことは被下て家名

相ぞく仕り升やう

東京のすみ

からすみ迄

御ひのみき

御評判

下さるゝやう

ひとへに願ひ

上げ奉り升

三代目中村歌右衛門

俳名 元祖歌右衛門実子

芝翫 幼名福之助

晩年 玉助梅玉

家号加賀屋

二代目中村歌右衛門

後に中村東蔵

右東臈悴

幼名駒之助更

二代目中村鶴助 芝翫

初名中村鶴助後に

芝翫

四代目中村歌右衛門